

## 春日部税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

「見えないところで税に支えられている」

白岡市立白岡中学校3年

佐々木 柚沙

私の夢は看護師になることです。小さい頃何回か病院にお世話になりました。たくさんの看護師さんを見て、小さな憧れを抱き、最近では新型コロナウイルスで医療従事者の方が患者さんを懸命に支えている姿をみて「わたしも絶対に困っている人をこの手で助けるんだ」と強く思いました。小さな憧れが、いつしか大きな目標に変わっていたのです。その時私はたくさんの人に支えられていました。しかし、その中に税が深く関係していたことは中学生になって知ったのです。

それは、中学二年生のときです。ある日脇腹の痛みに襲われ病院に行き、診てもらい、薬をもらったときのことでした。お金を払おうとすると「まだ義務教育だから、お金は大丈夫。」

そう言われ、私はなぜ、義務教育だから大丈夫なのかよく分からず「えっ？」とは思いながらも家に帰りました。そこでそのことが気になった私は調べてみることにしました。すると、私の住んでいる市では子育てを応援する取り組みとして健康保険加入者を対象に高校卒業までの医療機関受診料を自己負担ではなく全額助成してくれる制度がありました。また、この助成金

は税金で賄われていて、みんなが支え合って成り立っていることも知りました。子供の成長を願い、経済的な面で安心して受診できるこの制度はとても素晴らしいと思います。

一方で医療を受ける権利を皆が平等に持つことができているかという点、まだ課題があるように感じます。私は市町村ごとによって医療費の助成の対象年齢、条件が異なることが気になりました。詳しく調べると、埼玉県六十三市町村中、三十一市町が中学校卒業までの医療受診料を一部負担又は全額助成。三十三市町村が高校卒業までの医療受診料を一部負担又は全額助成。九市町が医療受診料を通院では中学校卒業まで、入院では高校卒業まで一部負担又は全額助成としていました。医療を受ける権利は誰もが平等に持つ必要があります。だからこそ、税金が担っている役割は非常に大きいものだと感じます。

私は今まで自分が払う税金は何に、どのように使われているのか考えたことがありませんでした。しかし、普段払っている税金がなくてはならないもので、くらしに役立ち、人々の健康の笑顔を支えていると知って、とても嬉しく誇らしい気持ちになりました。税について考えることが少ない今、見えないところで私たちが払った税が、誰かを支えていることを忘れずに、これからも生活していきたいと思います。